



笑顔いっぱい「しらたか」のために 子ども会議開催

12月18日、荒砥高校復禮会館で、町内の小中学校、荒砥高校の代表19人の児童・生徒が参加し「子ども会議」が行われました。

この会議は、次代を担う子どもたちが、話し合いを通じた交流を深めることで、『町』を見つめなおし、関心を高め、まちづくりに積極的に参画するきっかけづくりを目的として開催されました。

青少年育成町民会議（文屋正道会長）と教育委員会の共催で、昨年の「こども環境会議」に続く第2弾となります。

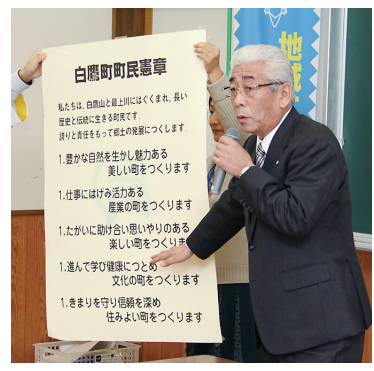
①名刺交換で交流
初めて合うメンバーがほとんどというので、顔写真入りの名刺を使って交流を深めました。
最初は緊張した様子でしたが、徐々に打ち解け、町長とも上手に名刺交換ができました。

②会議本番
4つのグループに分かれ、「話し合おう！私たちの白鷹町」をテーマに話し合いました。

町のよい所、悪い所をあげて、良い所はどのように伸ばし、悪い所はどうすれば良くなるのか、それぞれの思いを出し合いながらまとめていきました。



③発表
各グループごと、チーム名・キャッチコピーを考え、佐藤町長や各学校の先生などの前で発表を行いました。



まちづくりという大きなテーマ、しかも限られた短い時間でしたが、それぞれの話し合いの成果を発表いただきました。

※発表の内容は次ページをご覧ください。

④講評（佐藤町長）
「町は今年度、第5次総合基本計画を策定しましたが、今回みなさんが行ったものと同じような会議を繰り返して策定されたものです。今回のみなさんの発表を見ていてはっとさせられるような意見がたくさんありました。町は町民みんなで創りあげていくものです。今回の貴重な経験を通して、まちづくりに興味を持ち、みんなで一緒にまちづくりに力を注ぎましょう。」